

## 4 配置地区の町会連合会長及び 地域づくりセンター長の事業評価と課題

- (1) 地区町会連合会長の皆さんの評価と課題
- (2) 地域づくりセンター長の皆さんの  
評価と課題

## 4 配置地区の町会連合会長及び

### 地域づくりセンター長の事業評価と課題

報告書を作成するにあたり、インターン配置地区の町会連合会長さんと地域づくりセンター長に、調査票による評価をしていただきました。（調査用紙P）  
以下は、その結果です。

#### (1) インターン配置の地区町会連合会長の皆さんの評価と課題

##### ア 地区の皆さんの意識について

(ア) 住民の皆さんの事業への参加状況

多くなった 3      変わらない 3      少なくなった 0

(イ) 住民の皆さんの会議等での発言

多くなった 1      変わらない 5      少なくなった 0

(ウ) 事業への協力

多くなった 3      変わらない 3      少なくなった 0

(エ) 住民の皆さんの意識変化が感じられることがあればご記入ください。

・会議等の参加には多くに人が見えるが、発言等は人の目を気にしてか少ない。ただし、会議の議題によってはこの人がと思われる方が参加している。移住者の方の意見に耳を傾ける傾向が多く見られるようになった。（四賀）

・入山辺地区の将来ビジョンを考える会（愛称 こんな山辺にするじゃん会）の企画や諸活動に積極的に関わった。その情報や自分で取材した地域の諸行事を「かわら版」として広報することで地域住民に親近感を持たれ、また人脈も拡大した。地域の農産物を市街地で販売する取り組み等により、他地域との交流を経験することで住民に張り合いが生まれた。各種事業においても、地域内外の女性の参加を誘発したことで活性化した。（入山辺）

・各種事業に参加していただき、終了後の反省会で若い人の感性でいくつかの提案をいただいた点は良かったかと思います。また、ひろば・児童センター等の事業にも積極的に参画していただき、それぞれのスタッフからも感謝されていました。（鎌田）

・地域づくり協議会が発足して3年目となり、青少年育成及び健康・福祉等各部会の活動が定着しつつある中で公民館や体協などの各団体と協調した「芳川スタイル」の地区活動が生まれている。これが各事業（企画）においての、住民ニーズへの豊富なアイデアと柔軟な対応につながり、少しずつではあるが住民の皆さんの事業への関心度と参加意欲の向上に結びついていると思うのでこれからを期待している。（芳川）

・短期間であり（ア）～（ウ）の回答は難しいが、住民の意識は高いと思

う。インターンを迎えて、約1年という短い期間ですが、町会福祉に係る面で、住民との接点を継ぐ役割を果たしていただく中、地域のささえあい交流の輪を広めようとする住民意識が高まりつつあります。(本郷)

・寿地区に赴任して3か月半で、皆さんとの馴染みはまだ薄く、住民の変化をもたらすまでには至っていない。(寿)

・少しずつではあるが、各協議会・委員会等の中で、インターンと共に共同作業が出来つつあると感じる。(庄内)

・インターンシップ戦略事業の狙いが、住民側に充分理解されておらず現時点では、住民の意識変化はあまり感じられない。具体的なインターン生の活動に触れて、住民が戦略事業に触れることにより意識の変化が生じるものと確信する。(中山)

## イ インターン生について

(ア) インターンが地域に来てどうだったか

良かった 7            変わらない 2            良くなかった 0

(イ) (ア)の理由を教えてください。

・地元住民以外の新しい発想が出され、地域のカラから出たアイデアが新鮮。若者の地域にかける意気込みを強く感じる。地区の若者が参加。

(四賀)

・よく、まちづくりは「よそ者・若者・ばか者」という言葉がありますが、まさにその壺にはまったと思います。以前も外国からの留学生が「こんな山辺にするじゃん会」の行事に参加し、農業体験を通じた住民との交流がありましたが、インターン生は、非日常でなく毎日の活動を通じ、新風を吹かせ、住民に刺激を与えたと思います。(入山辺)

・新しい企画等若者の視点で考え、アイテムを出していただきましたが、具体的に推進する過程で、地域住民と交流(検討)しながら進めていった方がもう少し効果が出たかと思います。職場内のスタッフ間での検討より、地域協働で進めることで地域の盛り上がりには差が出るのでは？

(鎌田)

・市内第二位のマンモス地区である当地区では、これまで地域住民のコミュニケーションづくりは一方で体育型、他方で講義・講演型と各サークル活動を主流として行われてきた。こうした中で、インターン生が「食を通じた地域づくり」をコンセプトに、子ども達を手始めに住民参加(体験)型の活動を推進してきた。平田町でも初めての試みとして「平田でごはん」と銘打って開催したところ、参加者の多くは高齢者であり日頃家庭で行っている家事の延長とも言える内容であるのに皆さんとても楽しそうで好評であった。良い切り口で誰もが入りやすい間口の広さを感じた。(芳川)

・若い感性により、元気、楽しい活動が生まれた。大学とのスムーズなつながりができた。ワークショップの提案により、住民参加の地域づくりについて考える活動が生まれた。(新村)

・平成 29 年 4 月から地域ケア会議検討会メンバー（事務補助）として、地域福祉の支援活動の取り組みをいただいております。平成 28 年度に地区ボランティア協議会「ささえあいの会」が発足してから、地区町会単位等で、気軽に集えるささえあい交流の場（サロン）が立ち上がりました。更に、この交流の場（サロン）づくりの推進に向けて、既に立ち上がったサロンの現場に積極的に出かけて、参加者の声・会の運営実態などを記録取材を通して、このような交流の場を地区全体に広めるための活動を展開していただいております、献身的な努力にこれからも期待をしています。（本郷）

・インターンは 8 月末に寿地区に赴任されたばかり。寿地区の事業（地域づくり協議会、公民館事業、福祉ひろば事業、その他）の多くに参加し、地域を知っていただくことと、参加者に触れていただくことに専念いただいている。特に本人は、寿地区学校応援団活動や地域づくり協議会児童福祉部会で行う寿小学校の空き教室を使った子どもたちの居場所づくりに興味を持たれている。持った興味の案件は、とことん推進してもらおう方針である。（寿）

・地域（各町会）の行事等に積極的に参加協力し、地域を知り、町会を知ろうと努力している。町会住民から声をかけられて、人気者となりつつあります。（庄内）

・地域外の情報を知ることができた。（地域づくり関係者）

住民がいつものように畑仕事をしていたら、声をかけられ新鮮な感じがした。（住民の声）

・会議等で積極的な発言をしている。（いままでにない意見）（中山）

#### ウ 地域づくりインターンシップ戦略事業について、ご意見等あればご記入ください。

・一人体制ではなく、二人（複数）くらいの体制をお願いしたい（四賀）

・当地区では「こんな山辺にするじゃん会」が地域づくりを標榜し、活動を継続していくが、町会長をはじめ役員交代や高齢化等による停滞も危ぶまれる。1 地区 1 回限りでないインターン生の配置が地域づくりに活力と刺激を生むと思うので、3 5 地区一巡後も事業を継続し、インターン生が配属されることを望みます。（入山辺）

・各地区の 1 期生の活動状況は地域により差があったかと思う。地域の方と企画等進めることで、もっと活動の幅が広がるのではないと思う。課題の解決方法として、各種の手法を取り入れた活動を今後は進めてほしい。（鎌田）

・既成概念にとらわれない切り口から地域づくりに取り組む手段として若者の活用は素晴らしいと思います。一点気になる点は、3 年間を終了した後のインターン生はどうか、松本大学地域総合研究センター研究員は在任中のみの身分だと思うので、地域とはどうなるのか？出来れば何らかのパイプは残しておくことを希望するものです。（芳川）

- ・インターン生として地域で活動し、その後市職員として地域づくりの担い手になっていただく仕組みづくりを希望する。(新村)
- ・社会への巣立ち前の若い人たちが、身近な地域づくりに貢献できる絶好の機会であり、事業の継続を要望します。(本郷)
- ・今年度はすべての事業に参加し、その事業の目的などを知っていただくことにしている。イベント(事業)することも大切だが、そのイベントを通して次に何をして行くのかを考えることも大切なことである。経験の上で、それぞれの事業を地域の皆さんに理解していただき、そして次につながる方策を立案して遂行していけるようになってほしいし、次の方の育成もできるようになってほしい。寿地区は、学んで、多くの議論をして、人と人とのつながりを持つことに力を入れている。若いインターンの大いなる成長を期待して、地域をあげて、教育・経験させたいと思っています。(寿)
- ・地域づくりを担う若い力が必要と感じます。ぜひ、続けてほしい。ただし、身分の保障が必要だと思います。(庄内)

## (2) インターン配置の地域づくりセンター長の皆さんの評価と課題

### ア 地区の皆さんの意識について

#### (ア) 住民の皆さんの事業への参加状況

多くなった 3          変わらない 4          少なくなった 0

#### (イ) 住民の皆さんの会議等での発言

多くなった 3          変わらない 4          少なくなった 0

#### (ウ) 事業への協力

多くなった 5          変わらない 2          少なくなった 0

#### (エ) 住民の皆さんの意識変化が感じられることがあればご記入ください。

・野菜市の取組みや特産品づくりの取組みを通じて、入山辺地区住民が自ら、入山辺の良さの発信に取組み、さらに継続していく意識の変化が見られた。バス路線廃線の取組みを通じて、交通弱者も含めた身近な問題として受け止め、集落毎にその解決に向けて取組む意識の変化が見られた。(入山辺)

・市職員でないインターンシップ生が地域のために活動し、若者の立場で意見等を発信することで、地域の中でも自分の意見を述べようとする姿勢がみられるようになったと感じる。また、インターンシップ生が地域に入ることによって、地域住民が直接インターンシップ生に話しかけるまた相談することも増え、住民からの期待の大きさも感じられた。(鎌田)

・特定町会への配置は問題が起こる。インターンの配置は、「地域づくりセンターにおかないと他町会長から苦言が出る。(中央)

・平成30年1月に開催した地区懇談会は、多くの地域の人たちに参加いただき、奈川のくらしや夢を語るなど、自分たちの地域を自分たちで守り作り上げようという機運が盛り上がってきた。(奈川)

- ・住民の方の事業参加は増えたと思うが、上記(イ) (ウ)については判別できない。市役所職員という身分でないため、より親しみを持って接してもらっているように見受けられる。(芳川)
- ・地域課題を住民による話し合いの場ができた。(新村)
- ・特に住民の意識変化は見られないが、役員からインターン生に取り組んでもらいたい課題の提案があった。(寿)
- ・インターンを通して、行政が身近な存在になりつつあることを感じます。(本当に少しずつですが・・・)(庄内)
- ・上記(ア)～(ウ)については、短期間であり回答が難しい。インターンという若者が、地域活動に参加することにより、地域に活気がわいてきた。気軽に声掛けできる人材(インターン)がいることにより、行政を身近に感じてもらえるようになった。住民と行政とのパイプ役ともなっている。様々な地域活動に参加する機会が増え、地域の便利屋さんとして人気が高まってきた。(本郷)

## イ インターン生について

(ア) インターンが地域に来てどうだったか

良かった 9            変わらない 0            良くなかった 0

(イ) (ア)の理由を教えてください。

- ・インターン自身の社会経験や努力、気さくに話しかけられる資質が高いことがあって、住民自ら地区課題へ取組むきっかけを多方面で見出してくれた。特に、野菜市では、女性主体となりがちなお取組みが男性も関わってくれることが多々みられたこと、また若者が地域づくりに関わることが一般的に少ない中、地域と若者とのつながりがより図られたことなど、インターンがいたこそ成り得た成果だと思われる。(入山辺)
- ・従来の事業について、専門性と若い立場からの意見で見直しが行われた。また、主に取り組んだ「お宝発見事業」では、地区文化祭を活用しての地域への発信に取組み、加えて、インターンシップ生企画の公民館講座の開催、ワークショップの開催など新たな事にも積極的に取り組んだ。(鎌田)
- ・地域と大学をつなげてくれたと思う(地区全体としてできればもっと良かった)。少なくとも、上土町会と大学との関係や、他地域(例えば入山辺)と関係が出来、活性化しようという気運は生まれている(中央)
- ・1年目はエゴマプロジェクトに関わり、エゴマ栽培を通じて地域に関わるとともにエゴマ油等の特産品づくりにたずさわった。2年は住民との懇談会「奈川のくらしを語る会」を主体的に開催し、奈川地区地域づくり協議会「ふるさと奈川をおこす会」の立上げにつながった。3年目は地区懇談会を開催し地域の声をまとめるとともに、農協の生活店舗の閉店申し入れを受け、買い物弱者対策に関わり、買物バスの運行など生活支援に関わることができた。(奈川)
- ・積極的に地域に溶け込んでいて、地域の人からも愛され、ひいては、

地域づくりセンターそのものが親しまれる存在になっていると感ずるため（芳川）

・新村地区の場合は、特に大学とのつながりができた。地区住民へ積極的に話しかけ、意見集約も行ってもらっている。地域課題について、役員の方と検討もしている。また、ワークショップの実践も行っている。

（新村）

・様々な事業に参加してもらっているが、普段いない若い人（インターン生）が参加することで、雰囲気や和むこともあります。また、イベント等の準備で若い「力」が役に立ちます。（寿）

・地域や町会に足を運ぶことを求め、インターンはそれに応えてくれました。今では、地元の人から良く声を掛けられています。特に、並柳団地町会では、子どもの居場所「なみカフェ」で中心的な役割を担っています。最近は少したくましさも感じます。（庄内）

・本人の意向もあり、地域づくり内の特に福祉部門の仕事に従事しているが、できる限り現場に出向き住民と接することを最も重要視して地域活動に取り組んでいただいているので、住民との接点が増えた結果、今まではなかなか届けられなかった住民の生の声をインターンを通して直接支所・公民館へ気軽に伝えてもらえる。集約すると、住民からインターンに対する声かけが非常に増え、行政がより身近なものとなっている。具体的には、今本郷地区で取り組んでいる福祉活動の一つである、ボランティアの育成と地域サロン活動の奨励及び活性化の中で、インターンに住民活動の姿を写真やビデオなどで記録に残す作業をしていただいているが、サロンへのお誘いが増え住民とのコミュニケーションの円滑化が進んでいる。その住民の声を地域づくりセンターが拾い課題解決に向け取り組むきっかけともなり、住民と地域づくりセンターや福祉関係職員との一体感が生まれている。その潤滑油となるインターンへの期待も徐々に高まっている。（本郷）

#### ウ 地域づくりインターンシップ戦略事業について、ご意見等あればご記入ください。

・何の縁も関わりもない地域を担当し、研究の成果を成し得るためには、当初から受入れる地区とのマッチングを十分に考慮する必要があると思われる。そのうえで、意図した取組みの成果を得るために3年間が妥当か検証する必要がある。（入山辺）

・インターンシップ生の事前の聞き取りを十分行い、その専門性を生かせる地区に配置するために、無理に4月当初から配置するのではなく、必要により、1ヶ月間なり2ヶ月間程度は地域づくり課でインターンシップ生の専門性を見極めるとともに、インターンシップ生に35地区の情報を提供し、インターンシップ生本人の意思も確認する中で、お互いにより良い地区で3年間従事できるように取り組んだほうが良いと考えます。（鎌田）

・若い人が「地域づくり」の可能性にチャレンジする仕組みがあることは良いと思われるが、当初想定された「起業」については、なかなか難しいのではないかと。「業」にするための「ネタ」を探すには、「地域」と「全国ネット」という二つの見方のほか、「企業」や「NPO」のニーズも踏まえた「起業ネタ探し」が必要になるのではないかと。

地域の自立ではなく、依存を生み出したら本末転倒なので、地域づくりセンターをはじめ、周りの関係者の「目的の共有」や「進行管理」が大事になるのではないかと。地区として受け入れるのであれば、本人もそうだが、地区も覚悟しないといけないと思う。「何のために」「どう関わるか」「どのようなストーリーを描くか」といったことを、職員はじめ地域の人たちが共有したうえで、受け入れるべきだと思われる。そういった意味で、相当のコミュニケーションが必要となるが、そうした丁寧な対応ができていない地区がどれだけあるか、検証すべきであると思われる。

(自分の地区でもそこまでできていないが・・・)(中央)

・インターン生に地域で何をやるのか目的意識を持たせることが必要と考えます。そのためには地域からの事業提案を受け、希望する地域でインターン研修を行うことが望ましいと考えます。特に期間が3年という中では、今までに学んだことを即戦力で生かすことが必要です。また、3年間やってきたことを今後どうしていくのか、だれがその業務を引き継ぐのか。事業の継続性も課題です。(奈川)

・地域と行政のつなぎ役的な役を担ってもらっているように感ずるため、有効な事業であると思われる。(芳川)

・地域住民との関わりを市職員として行政に役立てられれば良い(新村)

・インターン生の経験が無駄にならないようにしてほしいと思う。(寿)

・若い力が地域づくりの一翼を担う可能性を感じます。ぜひ続けてほしいと思います。それには、身分の保障は不可欠だと思います。優秀なインターンは、市職員に採用すべきだと思います。(庄内)

・若者の特性を活かし、より①活動的な事業や②ITなどを使った業務や取組み、更には③若者のアイデアを活かした新たな事業展開を図る必要がある。→意欲、やる気のあるインターンの地域派遣は地区にとっての宝となる。

本人が望むのであれば、インターン派遣期間の延長(2~3年)を求める。→当初の3年間では、地域の特性を理解したり、人間関係ができたところで終わりとなることが多いので、地域にとっても本人にとっても非常にもったいない。また、本人の仕事のやりがいにも影響する。(本郷)



## 松本市地域づくりインターンシップ戦略事業 事業評価調査票

地域づくりインターンシップ戦略事業の評価をしていくにあたり、ご協力をお願いします。  
該当するところに「○」または記述をお願いします。

回答者のお名前

役職

### 1 地区の皆さんの意識について

- |                       |       |       |        |
|-----------------------|-------|-------|--------|
| (1)住民の皆さんの事業への参加      | 多くなった | 変わらない | 少なくなった |
| (2)住民の皆さんの会議等での発言     | 多くなった | 変わらない | 少なくなった |
| (3)事業への協力(参加ではなく準備など) | 多くなった | 変わらない | 少なくなった |

(4)住民の皆さんの意識変化が感じられることがあればご記入ください。

### 2 インターン生について

- |                      |      |       |        |
|----------------------|------|-------|--------|
| (1)インターンが地域に来てどうだったか | 良かった | 変わらない | 良くなかった |
|----------------------|------|-------|--------|

(2)(1)の理由を教えてください。

### 3 地域づくりインターンシップ戦略事業について、ご意見等あればご記入ください。